



獨協医科大学 看護師募集案内

Dokkyo Medical University

- 獨協医科大学病院
- 獨協医科大学埼玉医療センター
- 獨協医科大学日光医療センター



Dokkyo Medical University



獨協医科大学は
国内初の女性看護人が生まれた
医療の先進地「壬生町」に立地

2023年には創立50周年を迎え
更なる飛躍を目指します



信頼される医療人と未来を拓く研究者の育成を目指して
～伝統と創造 新たな挑戦～

獨協医科大学が立地する壬生町は
栃木県の県央南部、宇都宮市の南側
栃木市の北側に位置しています。

- 6～7世紀頃には多数の古墳が築かれるなど、古代から栄えた地域
- 江戸時代には、壬生藩の城下町、日光西街道の宿場町として栄え、蘭学も隆盛
- 現在は、首都圏に近い立地を活かし、おもちゃ団地を始めとした工業団地が整備され、農業ではかんぴょう・いちごなどの生産が盛んな町



実は「医療の先進地」

江戸時代の壬生藩は、宿場町で、
徳川歴代将軍が日光東照宮を参拝する際の宿泊地

- 将軍滞在中の健康管理にも万全を期す必要から、
西方医療を積極的に取り入れた
- 天保11年(1840年)、関東諸藩では初めての学術的
「解剖図」が藩医により作成



日本初の女性看護人が 誕生したのも壬生町

時はあたかも江戸時代から明治時代に大きく変わろう
としていた慶應4年(1868年)、戊辰戦争が始まり、
下野安塚の戦いにおいては壬生城周辺でも多数の死傷者

- その治療に当たるため、同年4月24日に
「銃創看病人」として地元の女性9人が採用された
この女性たちこそが国内初の女性看護人となったとい
われています。





獨協医科大学



獨協医科大学病院

Dokkyo Medical University



獨協医科大学と三つの病院

獨協医科大学の源流は「獨逸学協会」です。明治維新以降、欧米諸国の文化・文明を吸収し、いかに迅速に近代化を進めるかが喫緊の課題であり、当時のドイツ帝国への長期留学経験者有志により、明治14年(1881年)に設立されました。2年後には「獨逸学協会学校」が開学、その後、長い年月を経て昭和39年(1964年)に獨協大学が、さらに、昭和48年(1973年)に、獨協学園の悲願であった医科大学として獨協医科大学が開学しました。

そして、その翌年に大学病院が開院(24診療科、850床(現在; 33診療科、1,195床))し、平成22年(2010年)にはドクターヘリの運航を開始するなど、県内はもとより、広く近県の地域医療、高度急性期医療の担い手としての役割を果たしています。

また、首都圏のベッドタウンとして、人口増加が著しい埼玉県越谷市への新病院設置が検討され、昭和59年(1984年)に獨協医科大学越谷病院(現;埼玉医療センター)が開院(14診療科、237床(現在; 27診療科、928床))し、埼玉県の東部はもとより同県内全域の医療拠点として、地域医療の質の向上に貢献しています。

さらに、広大な面積と高い高齢化率を特徴とする栃木県の西部地域において、栃木県や地元の関係団体などからの強い要望により、「珪肺労災病院」の移譲を受けて、平成18年(2006年)に獨協医科大学日光医療センターとして開院(8診療科、50床(現在; 21診療科・1診療所、199床))し、本学では初めて電子カルテを導入するなど、地域の中核病院となる最先端の「大学病院」としての役割を果たしています。なお、日光医療センターは、令和5年(2023年)1月に日光市森友(土沢IC近く)に移転新築し、地域の中核病院としての機能を更に拡充しました。

獨協医科大学の3病院は、本学の4つの「建学の理念」を念頭に、中でも「地域社会の医療センターとしての役割の遂行」を実践すべく、高い専門性と倫理観を併せ持った人間味あふれる医療人を育成するとともに、各病院の特性を活かしこれに貢献しています。

また、本学の創立50周年を迎え、これまで以上に「教育・研究・診療の質の向上」と地域医療への貢献を目指して参ります。



獨協医科大学埼玉医療センター



獨協医科大学日光医療センター

— 教育制度 —

獨協医科大学は3病院共通の看護職キャリア開発システム

これを踏まえて各病院の特徴を活かしたオリジナル教育プログラムを組合せて人材育成を実践しています。

お互いが夢を持ちながら成長する看護師を目指すとともに教育を受ける看護師と教育をする看護師の両者が成長できる“共有”に力を入れています。また、3病院合同の研修や個人の希望にそった研修の受講や専門性を高めるための資格取得や進学への相談・協力とキャリア支援を図っています。自分にふさわしいと思える個性豊かな病院で、看護師としての夢を実現させてください。

共通教育制度

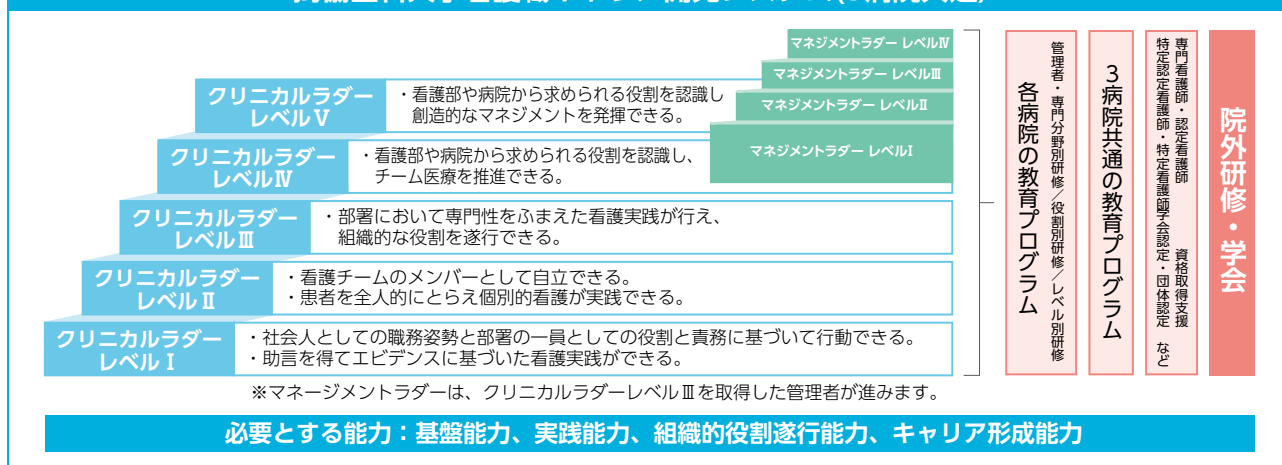
獨協医科大学病院、埼玉医療センター、日光医療センターの3病院 キャリア開発システム

レベルⅠからⅤのクリニカルラダーの段階に沿って、入職時から継続して看護実践能力が高められるよう人材育成をしています。さらに、管理者別、専門分野別、役割別などの教育も継続して実施しています。また、個人が目指す専門看護師・認定看護師などキャリアアップが図れるよう支援しています。

研修は、専門分野別・役割別などの3病院共通の研修と各病院別研修を組み合わせで行っています。

マネジメントラダーは、ラダーレベルを経験したものが、マネジメントラダーに進む形としました。

獨協医科大学看護職キャリア開発システム(3病院共通)



三病院看護部統括者 挨拶



獨協医科大学
三病院看護部統括者
藤井 洋子

確かな成長から、充実の看護・心豊かな日々を築きましょう

大学病院・埼玉医療センター・日光医療センター看護部の人材育成は、必要とする4つの能力を網羅した共通教育制度「看護職キャリア開発システム」から、クリニカルラダーレベル取得の支援をしています。また、教職員スキルアップ支援体制の「FD(Faculty Development)・SD(Staff Development)センター」と地域が求める人材育成の「地域共生協創センター」は多様な研修を実施しており、看護部は積極的に受講を推奨し、多数の資格取得者が活躍しています。他に大学病院敷地内にある看護学部、助産師コース、大学院にも編入・進学し易い環境調整により多くの修了者が専門領域の知識を発揮しています。

私達は個々のスキル及びキャリア形成支援を大切にして入職後から職場適応、専門職としての知識・技術の充足と共に社会人としての資質向上を目指しております。求められる医療・看護の確かな提供に自信と誇り・優しさを持ち、地域住民の方、患者さんやご家族の方からの信頼を大切にしています。

皆様、是非私達と共に獨協医科大学3病院で就業しませんか。そして看護の喜びや、共に成長する豊かな日々を共有しましょう。お待ちしております。

キャリア支援

資格取得や進学への道を指導し、成長への支援をしています。

◎3病院共通の獨協医科大学看護職キャリア開発システムをもとに

3病院共通の看護部クリニカルラダーを用いて3病院共通レベル取得のための人材育成を目指しています。
獨協医科大学病院、埼玉医療センター、日光医療センター各病院の特色を活かした教育プログラムによりエビデンスに基づく看護を学び、患者さんに対して最善のケアを提供できるよう看護師を育成しています。

◎キャリア支援：資格取得や進学などの相談・協力等の支援体制が整っています。

現在、獨協医科大学の3病院では、各分野の専門・認定看護師たちが看護専門外来などで活躍しています。
資格取得を目指す看護師には、本学看護学部への編入(病院在籍のまま)や大学院への進学(病院休職または在籍中のみ)を支援していますので、看護の専門性をさらに極めることができます。院外研修へも積極的に参加を呼びかけ、それにより学びを深め日常の看護に活かしてもらっています。

◎3病院間での人事交流も行っておりスキルアップもはかれます。

獨協医科大学の教育・人材育成研修

○FD・SDセンター (Faculty Development・Staff Development Center)

実習指導者講習会など3病院共通の教育プログラムを担当します。

FD・SDセンターの研修 (スキルアップ研修)

- ・実習指導者講習会
- ・入退院支援看護師要請
- ・多職種連携講習会
- ・ICLS(Immediate Cardiac Life Support)
- ・セデーションオンラインコース
- ・PICC(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル)セミナー
- ・医療安全管理者養成講習会
- ・教育セミナー
- ・ハートセイバーCPR AEDコース
- ・ファミリー&フレンズCPRコース
- ・BLSプロバイダーコース
- ・RQI (蘇生の質改善プログラム)

○地域共生協創センター (Center for Collaborative Creation and Collective Innovation)

地域住民と本学の教職員、学生の3者が協働して地域の課題解決に取り組む地域連携・貢献事業や学び直しを支援するリカレント教育、保険医療福祉専門職者のキャリア発達・開発支援に取り組んでいます。

地域共生協創センターの研修 (キャリアアップ研修)

- 【キャリア発達・開発支援】
- ・認定看護師教育 (感染管理・新生児集中ケア)
- ・看護師特定行為研修
- ・看護師及び看護学生のキャリア相談、キャリアガイダンス
- 【リカレント教育】
- ・専門職者リカレント研修(ELNEC-J(終末期ケア)、J-MELS(母体救命)、スポーツ医療等)
- 【地域連携・貢献】
- ・健康教育講座
- ・教職員のボランティア活動支援
- ・講師派遣

【研修等の様子】

■認定看護師教育課程



■看護師特定行為研修



■RQI(蘇生の質改善プログラム)



この他にも、本学では、大学院看護学研究科専門看護師(CNS)コースや助産学専攻科等を設置するなど、本学教職員を含めた人材育成に力を入れています。



獨協医科大学病院

ホームページ

<https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>



■開設	1974年(昭和49年)7月14日
■病院長	麻生好正
■看護部長	小松富恵
■所在地	栃木県下都賀郡壬生町北小林880
■病床数	1,195床(一般1,153床/精神42床)
■職員数	2,767名
■看護職員数	1,387名(有資格者1,231名/補助者156名)
■外来患者数	2,069名(1日平均)
■入院患者数	921名(1日平均)

■診療科目：33科

心臓・血管内科／循環器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、腎臓・高血圧内科、脳神経内科、内分泌代謝内科、呼吸器・アレルギー内科、リウマチ・膠原病内科、精神神経科、皮膚科、放射線科、小児科、健診センター、麻酔科、病理診断科、総合診療科、上部消化管外科(一般外科)、下部消化管外科(一般外科)、肝・胆膵外科(一般外科)、小児外科、心臓・血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、産科婦人科、口腔外科、リハビリテーション科、形成外科・美容外科、救急・集中治療科、乳腺科

■センター

救命救急センター、認知症疾患医療センター、総合周産期母子医療センター、消化器内視鏡センター、呼吸器内視鏡センター、血液浄化センター等26のセンター

病院長 看護部長 挨拶



病院長
麻生好正

最先端の先進的医療と患者さんを中心とした医療を提供する特定機能病院

獨協医科大学病院は、1,195床を有する北関東最大級のメディカルセンターである、高度な医療を提供し、高度急性期病院の役割も果たしている特定機能病院です。

また、ドクターヘリを有し、三次救急病院として地域医療にも大きく貢献しています。

当院は、専門性の高い看護を目指すために特定行為看護師・認定看護師の育成に積極的に取り組むとともに、患者さんを中心とした、寄り添う看護をモットーにしております。大きな病院ですが、全職員のチームワークは良くアットホームな雰囲気です。

患者さん・ご家族の皆さんはもとより、地域の皆さんから信頼され感謝される日本一の病院を目指して、多職種協働の中での看護師として、私たちの仲間になって働いてみませんか。

心よりお待ちしております。



看護部長
小松富恵

日本初の看護人が誕生した歴史ある壬生町で一緒に働きませんか。

1868年に日本初の女性看護人が誕生した壬生町に、1974年獨協医科大学病院が設立され2024年に創立50周年を迎えます。時代の変革に合わせて看護部の理念・目標を掲げ患者中心の看護を提供してきました。その経過の中で大学病院の看護師としての自信と誇りが高められ、患者さんに信頼される看護師が育っています。

『共に育ち共に育てる』という教育理念のもと、集合教育や部署内教育など多くの学びの機会があり、段階別・役割別プログラムにより個人の能力に合わせてステップアップできる教育システムです。先輩看護師が責任をもって新人看護師をサポートし、部署内スタッフ全員で成長を見守っています。

進学の支援も行っており専門看護師・認定看護師・特定行為看護師の資格取得も可能です。看護人が誕生した歴史のある壬生町で、勤務しやすい支援体制が整っている大学病院で一緒に看護を行ってみませんか。



特定機能病院として、地域医療と臨床教育の中心的役割を担います。

「森の中の病院」と呼ばれるほど緑あふれる好環境に立地し、高度医療を提供する特定機能病院です。地域医療の中核として認知症疾患医療センターや総合周産期母子医療センターを併設し、さまざまな疾患に対応するとともに、がん医療最新鋭の設備を備えたPETセンターなどの大型先進医療機器の充実により、北関東圏の医療をリードしています。

看護部理念

- 看護倫理の徹底 ● 高度で良質な看護の提供 ● 看護の専門性の追求
- 地域の特性にあわせた継続看護の充実 ● 信頼される看護職員の育成

看護部の 求める 看護師像

- 1 看護の専門性を追求できる看護師
- 2 高度先進医療に対応できる看護師
- 3 安全管理ができる看護師
- 4 組織人としての役割遂行ができる看護師
- 5 感性豊かな看護師

教育理念

共育 共に育ち、共に育てる

新人看護職員教育研修

集合教育

レベルⅠの達成目標

1. 社会人としての職務姿勢と部署の一員としての役割と責務に基づいて行動できる
2. エビデンスに基づいた看護実践ができる

4月オリエンテーション

- ・組織・看護体制の理解・多職種の理解
- ・社会人基礎力・接遇マナー・コミュニケーション・看護倫理
- ・感染対策・手指消毒・ガウンテクニック
- ・医療安全・RRS・フィジカルアセスメント・移送・酸素投与
- ・薬剤・輸血・臨床検査・栄養管理・ポジショニング
- ・ME機器・記録・重症度、医療看護必要度・夜勤勤務の心得

・1か月
フォローアップ

・メンタルヘルス
・災害看護

・一次救命処置（BLS）

・多重課題

・私の看護エピソード

部署教育

- 部署の特殊性を理解
先輩看護師と共に学ぶ
- 清潔衣生活援助技術
- 看護記録

- 部署の対象患者に沿った看護実践
スキンケア・認知症看護・口腔ケア・NST摂食嚥下・静脈注射
- 医療安全・感染対策
- 多職種の理解と協働
- 多重課題

Message



多職種と連携し看護の専門性が発揮できる場

本館5階フロアは心臓血管/循環器内科、心臓外科のハートセンターとして運営しています。医師・看護師・病棟薬剤師・理学療法士・看護補助者が共同し、それぞれの専門分野からアプローチする体制をとっています。看護師は心不全療養指導士、補助人工心臓コナース、BLS取得者が在籍しており、心電図モニターや人工呼吸器の管理、急変時対応が多いため、幅広い知識を習得するために勉強会や研修に積極的に参加しています。



獨協医科大学病院ハートセンター
Dokkyo Medical University Hospital Heart Center



専門的な視点から意見交換を行いQOL向上に向けた早期リハビリ

教育医療棟10階は、脳神経内科の一般病棟と脳卒中センター（SCU:Stroke Care Unit）の2つの病棟があり、フロアには2つのリハビリテーション室が設置されています。脳卒中発症直後の早期リハビリ介入は、医師、看護師、理学療法士が専門的な視点から意見交換を毎日行い、日常生活の自立に向けて高いQOLの獲得を目指しています。急性期治療が終了した患者さんはSCUから一般病棟に移動し、病棟間の情報共有を行いながら継続した看護を提供しています。

教育医療棟10階病棟



目指せ！スペシャリスト！

手術部では、18の部屋で1日に約40件の手術に対応し、年間9000件以上の手術を実施しています。

大学病院ならではの様々な診療科があり、専門的知識や技術を習得することができます。術中麻酔管理に関する特定行為を取得し活躍しており、更なるスキルアップも目指すことができます。

毎年、新人看護師さんを迎えており、安心して独り立ちできるよう支援を行っています。

手術部



とちぎ子ども医療センター

子ども医療センターは3階南病棟、センター棟3階病棟と子ども医療センター外来で構成されます。

外来では小児科、小児外科の急性疾患から慢性疾患の患児を対象とし、病棟や医療福祉相談部門、地域と連携を図っています。

病棟は0歳から15歳の小児が対象で、3階南病棟は小児科、センター棟3階病棟は小児科と小児外科を主科とし、他の外科系診療科の患児が入院しています。保育士による保育や発達支援、長期入院の場合、院内学級での学習支援なども行います。急性期から慢性期、在宅医療が必要な患児の退院支援など、外来や総合周産期医療センター、地域と連携を図り、退院後も安心して過ごすことができるよう継続した支援をしています。



作品：いわむらかずお氏



検体運搬
獨歩(ドッポー)



新人看護師研修



新人看護師演習

実際の看護の現場を体験してみませんか？

インターンシップ等の照会・申し込みは、こちらまで

<https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/recruit-nurse/entry/#form>





救命救急センター

フライトナースとして研修後の看護師が活躍

栃木県では、当院を基地病院として2010年1月からドクターヘリの運航を開始し、15年目に入りました。救急隊からの要請を受けて出勤し、必要な初期治療を行いつつ、医療機関へ搬送します。看護部では、当院独自の基準による研修を修了したフライトナース11名が活躍しています。



総合診療科 在宅相談外来

2024年3月に、入院や外来通院の患者さんや家族の方が安心して在宅生活が送れることを目的に在宅相談外来が設置されました。現役の在宅医が週1回、入院や外来通院中の診療科医師から依頼を受け、患者さんや家族の方が在宅の生活や治療のイメージが持てるように支援をしています。



医療・看護支援室

専門・認定看護師が部署横断的に活動！

2022年看護部内に医療・看護支援室が立ち上がり一部の専門・認定・特定行為看護師が配属となり活動しています。

現在はがん、糖尿病、摂食・嚥下の専門分野のスタッフが配置となり日々職種や部署看護師と連携を図りながら、患者・家族の思いに寄り添った看護の提供に努めています。医療・看護支援室の活動を通して、専門・認定・特定行為看護師の活動の幅が広がり、院内のリソースとして活用が拡大できるよう努めています。



患者・家族から得た情報を多職種と共有し、早期に社会復帰できるよう入院前から支援する入院サポート室です！

入院サポート室は、各外来診療科から依頼があった予定入院患者の問診・入院生活の案内・周術期口腔ケア予約・呼吸訓練・休薬確認や退院支援につながるように、経験豊富な看護師が患者・家族に寄り添ったサポートを行っています。

勤務体制

深夜	0:00～8:30
日勤	8:00～16:30
準夜	16:00～0:30
夜勤	20:00～8:30

3交代 2交代 変則2交代制勤務

【看護体制】

入院基本料 1 7対1

看護職員夜間配置加算12対1

【看護方式】

固定チームナーシング

機能別看護

など部署の特殊性にあわせて選択しています。





獨協医科大学 埼玉医療センター

ホームページ

<https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-s/>



■開設	1984年(昭和59年)6月21日
■病院長	奥田泰久
■看護部長	高橋久美子
■所在地	埼玉県越谷市南越谷2-1-50
■病床数	928床
■職員数	2,100名
■看護職員数	1,126名(有資格者1,001名/補助者125名)
■外来患者数	1,943名(1日平均)
■入院患者数	736名(1日平均)

■診療科目：27科

糖尿病内分泌・血液内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、こころの診療科、皮膚科、放射線科、総合診療科、外科、乳腺科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、救急医療科、集中治療科、麻酔科、歯科、リハビリテーション科

病院長 看護部長 挨拶



病院長
奥田 泰久

医療従事者として常に清楚な使命をもった看護師を目指し

当センターは埼玉県の越谷市を中心とした東南部地区約200万人の住民の健康を守るべく、日々、高い水準の医療を提供している地域の基幹病院です。当センターの目の前には東武線の南越谷駅、JRの南越谷駅が隣接し東西・南北のアクセスは非常に良く、また建物内は新しく、高度急性期病院として最先端の医療を施し、そして研修医のマッチングの人气が高く、基本的に全職員の“和”をもった医療を実践している医科大学付属病院でもあります。

“患者のための医療”との気持ちを抱き、心から患者に奉仕する看護師を最も大切にする環境を整えております。当センターの医療の最前線を支えているのは個々の看護師であるとの自覚と誇りをもって、すべての方々が夢を実現し、希望を叶えるべく、日々頑張っていたただける職場を提供したいと考えています。看護師に広く意見を求める病院長として共に働きたいと思っております。



看護部長
高橋 久美子

おもいを持って目指す看護を実践しましょう！

皆さんはどのような看護師や助産師になりたいですか。当センターの看護職員には「こんな看護師・助産師になりたい」「こんな看護がしたい」というおもい【思い・想い・念い】を大切にしてほしいと思います。新人看護職員にもおもいを持って、実現のために成長してほしいと考えています。そのような願いから、2年間の新人教育プログラムと職場適応支援を準備しています。

当センターは、埼玉県東部地域の急性期医療を担う病院であり、仕事は忙しいのが日常です。忙しい中でも患者さんの想いや望みを叶えるために医療チームが協力して医療を提供しています。職員の満足度調査で最も満足度が高かった項目は「同僚との関係」でした。

私たちと一緒に看護をしませんか。



埼玉県東南部地域の基幹病院として、急性期はもちろん在宅医療までもカバーしています。

病院完結から地域完結へ。生まれたてのこどもからお年寄りまで、急性期から在宅医療まで、幅広く地域医療に貢献、地域をリードする中心的病院です。救命救急センター、周産期母子医療センターを併設し、がん拠点病院、災害拠点病院として地域から信頼を得ています。手術室22室を有し、術中CT撮影可能な設備やハイブリッド手術室などがあり、最新の手術設備が整っています。

看護部理念

いのちの尊厳と人権を守り『安全な医療』と『笑顔と活気のある看護サービス』を提供します。

看護師は、常に患者のそばにいて、患者をいたわり、勇気づけ、一緒に前に進んでいきます。看護師が元気だと患者も元気になっていく。看護師たちの顔にはいつも笑顔があり、看護師たちからはいつも活力を感じとれる、笑顔と活気のある現場であることを目指しています。

看護部の求める人材

- 1 人と協力できる人
- 2 自分の考えを持てる人
- 3 成長に向け努力できる人

多様な人々と共に、目標に向けて協力できる人。

疑問を持ち、考え抜くことができる人。

一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組める人。

新人看護職員教育研修・支援

適応支援

新人看護職員の達成目標

1. 社会人としての職務姿勢と部署の一員としての役割と責務に基づき行動できる
2. 助言を得てエビデンスに基づいた看護実践ができる

施設オリエンテーション
●病院概要
●就業規則
●継続教育
●災害対策
●医療安全
●社会人基礎力
●接遇マナー

ワークショップ
看護師として働く
自分の生活確認

ワークショップ
心身のリフレッシュをはかる
自己課題解決の糸口を掴む

ワークショップ
自己の傾向を知り、チームの
一員として働くことを考える

ワークショップ
1年間の成長確認
次年度の目標の明確化

各部署
リフレクションCafe

各部署
リフレクションCafe

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

集合・部署教育

ラダー1研修
●医療安全I
(事故防止・
感染管理)
●看護倫理I

基礎看護技術
●保清ケア
●褥瘡予防
●皮下注射
●オーラルケア

●多重課題

●フィジカルアセスメント
●輸血療法

●急変時対応(一時救命処置)

●臨床判断(看護過程)

●看護理論
●看護倫理

●対象理解

●医療安全教育II

Message



救急医療はチーム、ひとりの命を救うために全力を尽くす

救急医療は、患者が病院に運ばれてきた時から安定化するまでの時間が勝負です。心肺蘇生から手術、検査など多様な救急処置をいかにスムーズかつスピーディーに行えるか、一瞬の判断が生命にかかわる場面も多く、プレッシャーの日々です。人の生死にかかわるため辛いこともありますが、迅速に救急処置を提供でき、患者が安定化した時には達成感があります。患者が運ばれた時から社会復帰を見据え、心身の障害が最小限にとどめられるように個を尊重した看護提供に手応えを感じています。地域の救急医療の、最後の砦としての誇りを持ち、チーム一丸となって働いています。

ERICU DMAT隊員



22の手術室、周術期医療は病院の要

22部屋ある手術室は国内最大級です。年間10,000件を超える手術に対応しています。手術中、麻酔下にある患者には意識がありません。手術室看護師は、患者の代弁者となり患者の不利益を排除し、患者の権利と安全を守っています。私たちは、手術を受けるすべての患者とその家族に寄り添う看護を実践しています。現在は消化器外科の病棟で主に周術期における術後の患者に質の高い看護ケアを提供しています。手術チームの一員としての誇りを胸に、最高の周術期看護をしてみませんか。

E5病棟 手術看護認定看護師



大学病院から在宅訪問へ

在宅医療部門では、急性期での治療を終えた後も、患者さんが住み慣れた自宅安心して療養生活が送れるように、地域と連携しながら「訪問診療」「訪問看護」を提供しています。在宅医療は、病気や障害があっても、治療を受けながら住み慣れた家でその人が望む生活を実現することができます。私たちは、ひとりひとりと向き合い、病気や治療だけではなく、その人自身に寄り添い「その人らしい、望む生活」を支えていきます。そこには、在宅だからこそ感じることができる、人の温もりや喜びがあり、看護の力を最大限に発揮できる場でもあると思います。治療から生活を、看護でつなぎ支える醍醐味を皆さんも感じてみませんか。

総合患者支援センター・在宅医療部門 訪問看護師



母となり、助産師として

私は、看護師として臨床に出たあと大学へ編入し、助産師の資格を取得しました。その後、妊娠、出産を経験し、ひとりの女性として“新米ママ”と“助産師”の両立をしています。当院は周産期母子医療センターとなり、これまでよりもハイリスク妊産婦が増えました。どうすれば安全に妊娠を継続できるのか、出産後はお母さんと生まれたこどもの両方が、安全で安心な暮らしをするにはどう地域と連携すればいいのかを考え支援しています。そんな時“新米ママ”としての自分の暮らしも活きているな、と感じます。今後も妊産婦とその家族に寄り添っていきたいと思います。

周産期母子医療センター 助産師



実際の看護の現場を体験してみませんか？

インターンシップ等の照会・申し込みは、こちらまで

<https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-s/recruit-nurse/entry/#form>





まずは、どんな領域でも通用する 一人前の看護師になる

働くということは、一人前の看護師に向かって、一步を踏み出すということ。どこではじめての一步を踏み出すか。採用面接時に提出する希望部署のいずれかに配置されます。どの病棟でも、新しい仲間を迎える支援体制の準備は万端です。



現場で使える院内教育研修プログラム —実践で活きる研修—

院内研修は、クリニカルラダーに則りプログラムされています。重点を置いているのは「実践力アップに役立つ」ということ。現場で使えなさや意味がない、だから集合でなく現場で、その現場の特徴をふまえた演習を取り入れ、実施しています。



看護師としての自分のキャリア、 どうしよう

当院では、働き始めた2年目に、違う病棟に1か月研修に出る“ローテーション研修”を行っています。そのタイミングだからこそ見える景色、わかることがある。埼玉医療センターのこだわりです。

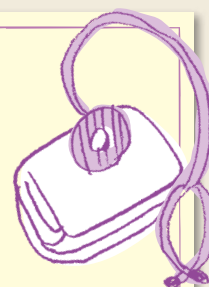


Withコロナ社会に羽ばたく、 新人看護師への職場適応支援

当院では、充実した教育プログラムとともに、職場適応支援にも力を入れています。先輩看護師の失敗(経験)談を聞いたり、自分の行った看護の振り返りを通して学びを深める「リフレクション・カフェ」や、他部署の新人看護師との交流を通して社会人基礎力の育成を目指す「ワークショップ」を開催しています。新人看護師が一日でも早く職場に適応できるようサポートしています。

勤務体制

日 勤	8:30～16:40(日勤8時間) 12:30～20:40(日勤午後8時間) 8:30～20:45(日勤12時間)
夜 勤	20:30～8:45



2交代制です。

特徴は、夜勤が12時間であることです。

夜勤開始時間である夜8:30までは、自分の時間です。

その日の日中をゆったりと過ごすもよし、趣味や勉強など充実したプライベートを過ごすもよしです。

【看護方式】

固定チームを基本としたチームナースィング

PNSなど部署の特殊性にあわせて選択をしています。





獨協医科大学 日光医療センター

ホームページ

<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/>



■開設	2006年(平成18年)4月1日
■病院長	山口 悟
■看護部長	小倉佳子
■所在地	栃木県日光市森友145-1
■病床数	199床
■職員数	488名
■看護職員数	277名(有資格者236名/補助者41名)
■外来患者数	471名(1日平均)
■入院患者数	186名(1日平均)

■診療科目：21科・1診療所

呼吸器内科, 消化器内科, 心臓・血管・腎臓内科, 循環器内科, 脳神経内科, 糖尿病・内分泌内科, 膠原病・アレルギー内科, 皮膚科, 放射線科, 病理診断科, 外科, 呼吸器外科, 心臓・血管外科, 整形外科, 脊椎センター, 泌尿器科, 形成外科・美容外科, 麻酔科, 眼科, 救急・総合診療科, リハビリテーション科, 三依診療所

病院長 看護部長 挨拶



病院長
山口 悟

地域医療の中核として、地域住民のための医療を提供します

当センターは、2023年1月に移転新築し最もスマート化が進んだ病院に生まれ変わりました。大学病院としての特性を生かし、かつ国際観光都市日光の基幹病院として、最新の医学技術と最先端の医療機器を備え、地域が求める急性期医療と高度医療、そしてリハビリテーションを切れ目なく提供します。医療レベルと事務対応レベルを整えて、国内外からの患者様に満足して頂けるような医療サービスを提供できる施設を目指しています。

このような中で、常に患者様に寄り添い看守り、的確な医療サービスを一緒に提供する看護師の役割はとても重要で、皆様には多職種連携でのチーム医療の仲間として大いに期待しております。

医療スタッフが患者様やその家族と真摯に向き合い、患者様が元気になるまで満足して帰っていただけることが私達の喜びです。そのため、医療スタッフ教育には力を入れています。新入職の看護師の方には、教育や研修を通じてしっかりと無理なく勉強し続けられる環境を整えています。また各種認定看護師や特定行為看護師も数多く誕生しています。皆様の新鮮な感性と湧き出る意欲を、是非この日光医療センターに向けてください。

夢の実現に向かって、私たちと一緒に働いてみませんか。お待ちしております。



看護部長
小倉 佳子

相互成長と自立を目指して

私たちは、国際観光都市日光の「地域医療連携推進法人日光ヘルスケアネット」における急性期を担う基幹病院として、他の医療機関と協同し、医療・看護を求める人々及び地域に思いやりの心をもって接し、安心・安全な看護の提供を目指しています。教育では「対話と自律、そして相互成長」を理念とし、お互いの価値観を認め合い共に成長していく教育環境を目指しています。新人教育は2年間をかけて、豊かな人間性と確かな技術を身につけられるよう、集合教育と日々の実践を通したプログラムを企画し実地指導者がサポートします。さらに、認定看護師や特定行為の学修など看護職全員のキャリアアップを支援しています。自然や歴史的文化遺産に囲まれ地域で、最先端のIT化を備え新設された病院で、共に看護に取り組んで頂ける皆さまをお待ちしています。



日光医療センターは令和5年1月に移転新築し、1年が経過しました。

平成18年に開設し、これまで国際観光都市である日光地区の医療を担う基幹病院として大きな役割を果たしてきた日光医療センターは、令和5年1月に移転新築し1年間順調に稼働しております。また、病院から徒歩5分圏内に新しい職員寮「ヴィラージュ日光」を併設しております。これまで以上に地域に求められる医療機関となるよう取り組んで参ります。

看護部理念

社会の信頼に応える基幹病院として、医療を求める人々に思いやりの心を持って接し、高度で良質な医療・看護を提供します。

基本方針

- 1 一人ひとりの思いを大切にして、安全で安心できる質の高い看護を提供します。
- 2 高度で先進的な看護を提供します。
- 3 保健・医療・福祉との連携を図り、地域の人々の健康の回復・保持・増進に貢献します。
- 4 看護職として自己研鑽に努め、人間性豊かな看護職を目指します。

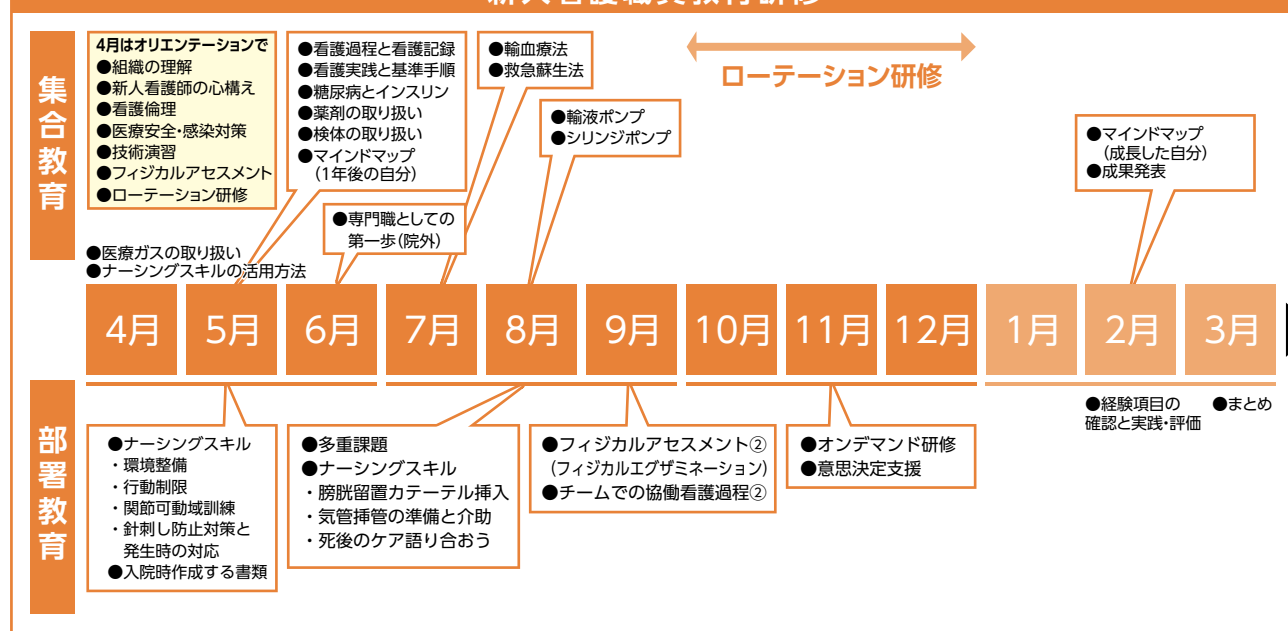
求める 看護師像

地域の人々に信頼される看護師

教育理念

対話と自律、そして相互成長
—お互いの価値観を認め合い、自律して共に成長しよう—

新人看護職員教育研修



Message



認知症看護認定看護師

近年、超高齢化に伴い認知症患者も増加し、認知症患者と患者を支える家族、医療を提供するスタッフの苦悩は計り知れないものがあります。「認知症=大変である」という概念がある中、認知症看護認定看護師として医療スタッフ・地域と協力しあいながら活躍し、認知症患者と、患者を取り巻く人々から少しでも多くの笑顔が生まれ、「認知症=その人らしい生活ができる」となることを目標に、頑張っていきたいと思います。



糖尿病看護認定看護師

糖尿病は、生涯を通し患者さんが主体的に治療を継続していくことが重要です。糖尿病看護では、糖尿病をもつ方を「生活者」と捉え、合併症の発症、進展を阻止し治療と生活との折り合いを見いだしながら、その人らしい生活調整を目指します。また、教育入院やフットケア外来、糖尿病透析予防指導など実施しています。



皮膚・排泄ケア認定看護師

私の活動分野は、創傷や排泄に関わることです。院内の活動は、褥瘡ケアでは「すべすべお肌」を心がけたストーマを持った患者さんはQOL向上をめざした指導を行い、患者会のサポートも行っています。また当センターでは、高齢者が多いため在宅ケアにも目を向け関わっています。



感染管理認定看護師

環境ラウンドやサーベイランス、感染講習や相談を行い、感染の早期発見やリスクの低減に努めています。感染対策は全員が正しく実践することでより成果を上げられます。職員全員、地域住民が感染症を予防・拡大なく過ごせるように関わっていきます。

慢性心不全看護認定看護師

心不全はあらゆる循環器疾患の果てに辿り着く病態であり、増悪と寛解を繰り返しながら終末期へ向かっていきます。そんな病と共に生きる患者さんご家族の想いに寄り添いながら、「その人らしさ」を第一に様々な支援を行います。希望される治療や療養方法、これからの過ごし方についてなど一緒に考えていきます。

特定行為看護師

地域医療および高度医療が必要とされる中、医療チームの一員として活動しています。多職種と協働し、専門的知識を活かして患者さんの状態を見極めながら、手順書をもとに診療補助行為や看護を実践しています。チームの中心的役割を担いながら、患者さん・家族の一番身近な存在として、安心・安全な医療が提供できるよう努めてまいります。



実際の看護の現場を体験してみませんか？

インターンシップ等の照会・申し込みは、こちらまで

<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/entry/#form>





新人看護師研修



災害拠点病院としての看護師の活動

DMAT隊は、その任務遂行への士気を高く持ち、看護師6名、医師、薬剤師、事務員で2隊構成され、平時から準備・研修・訓練を重ねています。災害時における救助において、精神面のケアも含めた医療・看護の提供ができるよう活動に努めます。



働き方改革の一環として

2021年4月1日よりユニフォームを一新しました。また、夜勤者のユニフォームの色を変えて勤務の交代をスムーズにできるようにしています。日勤者は「白」夜勤者は「青」と変えることにより一目で勤務時間帯が分かるため、仕事の効率化や残業時間の削減となっています。

看護外来始めました



受診日：
月曜日～土曜日
予約制
(予約可能時間
15:00～16:00)
対象：
当院に通院、入院中の患者さんとご家族
場所：
2階 ラウンジ内
看護部相談室
予約方法：
外来・病棟看護師にお声がけください。

勤務体制

日勤	8:30～16:50
夜勤	16:30～8:50

2交代制勤務

【看護体制】

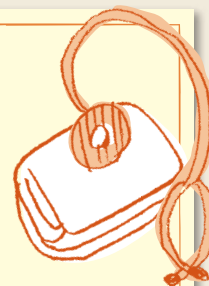
入院基本料2	10対1
看護職員夜間配置	16対1
急性期看護補助配置	25対1

【看護方式】

プライマリーナーシングの理念を取り入れた担当看護師制

【看護記録】

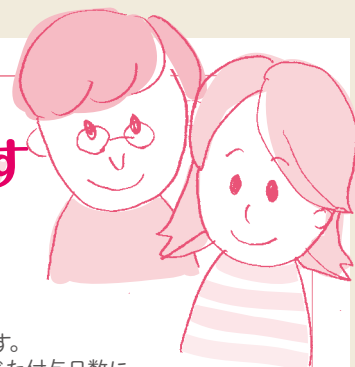
電子カルテ・看護支援システム 全病棟スマートベッドによる遠隔入力
NANDA-I看護診断、PONR、クリニカルパス



Q & A

気になるあれこれを質問!

配属や今後のことが気になります



Q1 休暇(介護・結婚・産休・育休、忌引など)は?

共通 Answer

- ・休暇制度は3病院共通で、労働基準法に準じた規程があります。
- ・また、勤務体制は「4週8休」で、年次有給休暇は、法令に準じた付与日数に本学独自の「フレックス休暇」(5日間)を加えています。このほか、冠婚葬祭時に必要な特別休暇制度もあります。
- ・その他、出産や育児、介護に必要な休業・休職の制度も整っています。

Q2 職員寮は?

壬生 Answer

- ・敷地内に職員寮「ドミトリーさくら」があります。

埼玉 Answer

- ・「ホルトハイム」、「リーベンハイム」、「ドミトリーあおば」、「ドミトリーけやき」があります。

日光 Answer

- ・徒歩5分圏内に教職員寮「ヴィラージュ日光」があります。



Q3 配属(病院や診療科)の希望は出せますか? また、院内や院外の異動はあるのですか?

共通 Answer

- ・もちろん、配属希望は出せますし、なるべく希望に沿った人事を行っています。
- ・大きな組織ですので、すぐには希望がかなわない場合もありますが、上司とも事情等を十分に話し合い、お互いが納得できる方向性を見出します。
- ・採用後の異動についても、P5にもあるように、本人の意向を尊重しながら、適性を見極めた上での相談・助言なども行った上で、キャリアアップや、やりがい、生きがいにつながるように支援いたします。

Q4 off-JT は、どんなものに参加できますか?

共通 Answer

- ・日本看護協会や栃木県・埼玉県看護協会主催の専門研修や、各種学会等に参加できます。(研修によっては自己負担での参加となる場合もあります。)

Q5 専門看護師や認定看護師は、どの分野に何人くらいいるのですか?

・現在の状況は次のとおりですが、P5にもあるように、資格取得希望者には本学の「看護職キャリア開発システム」の中で、経済的な面も含めて支援しています。

壬生 Answer

- ・専門看護師 5名(がん、急性・重症患者、感染症、老人看護など)
- ・認定看護師 29名(救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケア、がん化学療法、認知症看護など)
- ・特定行為看護師 39名(呼吸器関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連など)

埼玉 Answer

- ・専門看護師 2名(慢性疾患、精神看護)
- ・認定看護師 25名(集中ケア、がん化学療法、救急看護、訪問看護など)
- ・特定行為看護師 8名(呼吸器関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連など)

日光 Answer

- ・認定看護師 8名(糖尿病看護、皮膚・排泄ケア、認知症看護など)
- ・特定行為看護師 10名(術中麻酔管理、外科術後病棟管理、救急、在宅・慢性期、透析管理関連など)

Q6 進学はできますか?

共通 Answer

- ・基本的には可能です。(看護学部3年次への編入、大学院など)まずは上司に相談してみてください。

(注)各病院の名称は次のとおり略します。

獨協医科大学病院 = 壬生

埼玉医療センター = 埼玉

日光医療センター = 日光

福利厚生はどうなっていますか？



Q7 ユニフォームはどんなものを着用するのですか？

共通 Answer

・3 病院とも、人気の動きやすいパンツスタイル等を取り揃えており、病院からの貸与です。また、スクラブを導入している病院・部署もあります。

Q8 レクリエーションなどがありますか？

共通 Answer

・各病院で独自の企画をしており、ボーリング大会、よさこい、ハイキング、日帰りバスツアー、宿泊研修やリフレッシュ研修など、職場内のコミュニケーション活性化や相互研鑽などに役立っています。

Q9 保育所はあるのですか？

壬生 Answer

・敷地内に民間の認可保育施設「ステラ獨協前保育園」があります。この保育所は延長・休日保育、病後児保育等の事業も行っています。
・院内病児保育室「にじいろキッズ」(学生寮「ドミトリーいちよう」内)が平日昼間に利用できます。

埼玉 Answer

・職員寮内に(事業所内)保育所があります。24時間、病後児も対応しています。

日光 Answer

・認可保育所があります。

さあ、病院を見に行こう！

3病院とも、それぞれインターンシップや病院見学会を開催していますので、詳しくは獨協医科大学のホームページ(看護師募集サイト)で確認してください。

なお、定期開催以外でも、個別に対応できる場合もありますので、各病院の連絡先まで、お気軽にご連絡ください。



ご応募お待ちしております

看護師募集
サイトはこちら

獨協医科大学病院

TEL:0282-87-2395

<https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/recruit-nurse/>



埼玉医療センター

TEL:048-965-9104

<https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-s/recruit-nurse/>



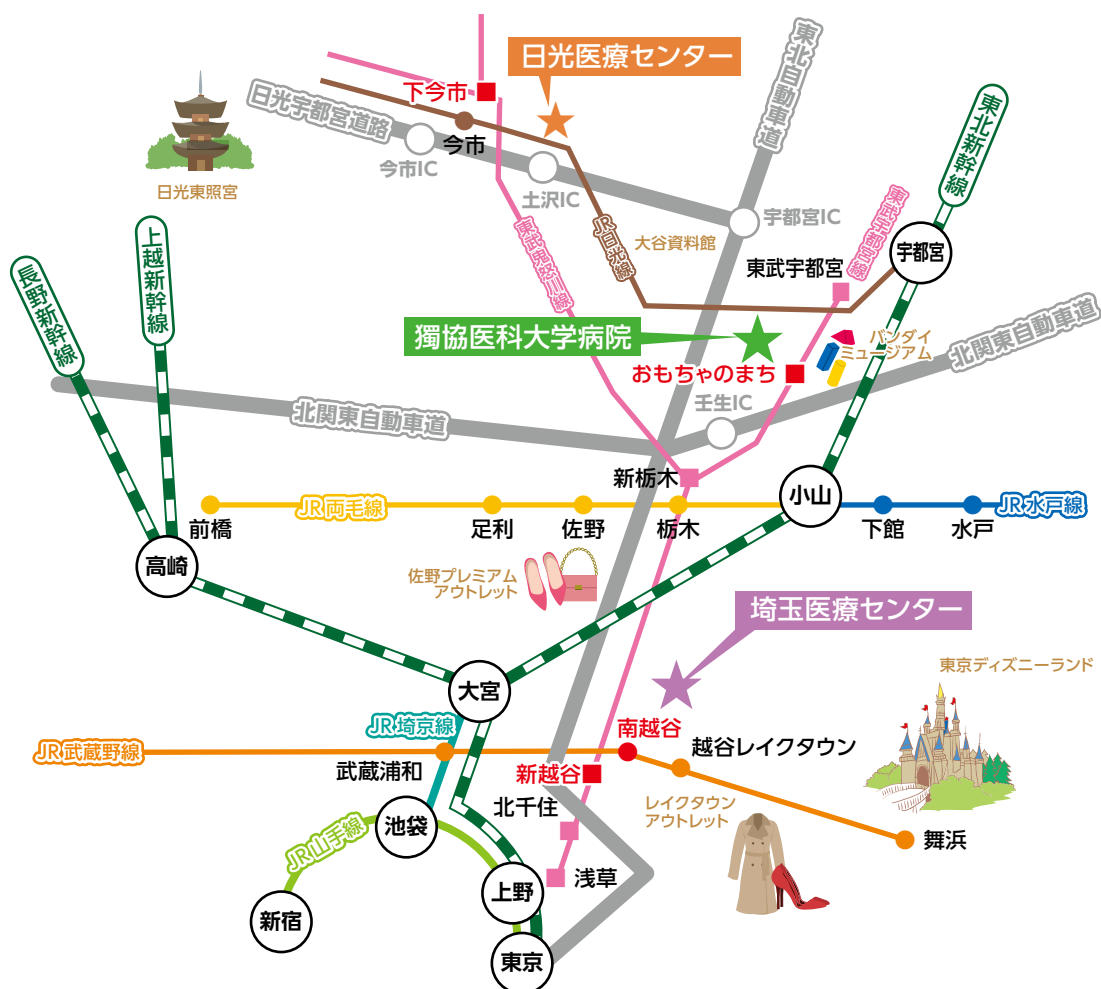
日光医療センター

TEL:0288-23-7000 (代表)

<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/>



Access Map



獨協医科大学病院

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町北小林880

TEL: 0282-87-2395

- 「浅草駅」から東武線約100分
「浅草駅」から東武特急利用で「栃木駅」にて東武宇都宮線に乗り換え「おもちゃのまち駅」下車 徒歩10分（駅西口/バスにて3分）
- JR宇都宮線「石橋駅」タクシーにて15分
- JR宇都宮線「石橋駅」バス停で、ゆうがおバスに乗り換え約20分（石橋・獨協医大病院（終点）下車）
- 北関東自動車道（高速）壬生ICから3分

獨協医科大学 埼玉医療センター

〒343-8555

埼玉県越谷市南越谷2-1-50

TEL: 048-965-9104

- 東武スカイツリーライン（東京メトロ日比谷線）
「新越谷駅」下車 北へ徒歩3分
- JR武蔵野線
「南越谷駅」下車 北へ徒歩3分

獨協医科大学 日光医療センター

栃木県日光市森友145-1

TEL: 0288-23-7000（代表）

- JR今市駅下車、JR下野大沢駅行き市営バスにて約15分「獨協日光医療センター」下車
- 東武日光線下今市駅下車、JR下野大沢駅行き市営バスにて約10分「獨協日光医療センター」下車
- JR下野大沢駅下車、今市車庫行き市営バスにて約20分「獨協日光医療センター」下車
- 東北自動車道「宇都宮IC」より日光宇都宮道路に入り「土沢IC」から国道121号線を北東方向に約5分